

百号特集

広報にみる

十一年の歩み

「広報よこしば」は、昭和36年11月に第一号が発行されて、今回百号を迎えることになりました。この間の町における主な出来事をふりかえり、原文の一部をあげてみたいと思います。

にうけて、新装なった横芝中学の屋内体育館の落成式が三月二十日午前十一時から盛大に行なわれました。(38年4月15日第8号より)

◎農業構造改善事業着手

農業の経営近代化を図り、農業所得を他産業に従事している人達の所得と同じ水準に引き上げることが目的とした本事業の実施地区は、三島、鳥喰上新田の二部落に決定いたしました。(38年9月15日第11号より)

◎児童遊園完成

東町の中心、稲荷境内に児童遊園ができあがりました。総工費三十四万五千円、敷地面積五百坪、スベリ台、ブランコ、鉄棒、シーソー、遊動橋便所などの施設が備えられ三月末に完成しました。(37年6月15日第4号より)

◎青年館の建設各所に進む

横芝町の青年館は、南川岸於幾、沼と陸統として誕生しているが、本年度は、本町と北清水西の部落にそれぞれ建

◎中学校体育館完成

麗らかな春の日ざしを一杯

設されました。(41年3月15日第28号より)

◎有線が公社線と繋がりました 接続局は四十七局 (41年9月15日第32号より)

◎給食センター完成

横芝町立小中学校を対象とする給食センターは、予定より約一ヶ月遅れて十一月二日に発足した。一日の給食可能数二千五百食、所長以下十六名の職員を配置した設備は、管内児童生徒二千七百七十一名が、完全給食を受けられる名実共の給食センターとなり、次代を担う横芝町児童の発育と健康に貢献するところは大きい。(41年11月15日第33号より)

◎新栗山橋完成

千葉一銚子を結ぶ国道一六号線建設工事は、横芝・松尾間も基礎工事を終り、舗装を待つのみとなりました。新栗山橋は三月に完成し新国道の開通をまっています。(42年7月15日第38号より)

◎横芝に急行とまる

横芝駅の急行列車停車については、しばしば国鉄当局に対して陳情しておりましたが、今年は夏の間だけ下り一本、上り二本停車することに決まりました。(44年7月1日第58号より)

◎ゴミの共同焼却場完成

蓮沼村及び山武、松尾、芝

◎町長伊藤績夫氏叙勲される

横芝町長は春の叙勲で、自治功労者として勲五等瑞宝章

◎推名登氏町長に就任

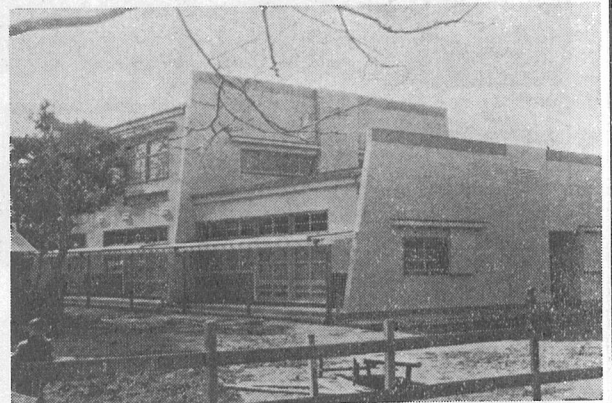
二月二十日に行なわれた町長選挙に当選した推名登氏は同二十六日初登庁して、前町長伊藤績夫氏から一切の事務引継を受け町長に就任いたしました。(43年3月15日第43号より)

◎広報横芝月刊となる

広報は今月号から月刊として、毎月一日付で発行することとし、これを機会に紙面の大きさを今までの半分、四頁の読み易く保存に便利な型に改めました。(43年7月1日第46号より)

◎電話がダイヤル式に

横芝電報電話局の新舎屋が本町交差点東角に完成し、待望久しかった町の電話が九月十七日午後三時、一斉にダイヤル式に切換えられました。(43年9月1日第48号より)



◎東町児童館開館

かねて建設中であつた東町児童館は、四月八日開館式を行ないました。近在にも珍しい建築美と、お伽の国のそれにくらべて講堂、ステージ、図書室、それに遊園地まで加えた此の夢の殿堂は、必ず良い子の育成に大きな成果があがるものと確信する。(40年5月15日第22号より)

山、横芝の五ヶ町村では、山武郡環境衛生事業振興組合を組織して、塵芥焼却場を共同経営することになり、昨年来総事業費一、四三五万円で松尾町金尾に二、一〇二平方メートルの土地を入手し、焼却能力十屯炉を建設しました。(42年1月10日第34号より)

を授与され、五月十二日宮中に参内して陛下に拝謁を仰せつけられ無上の光栄に浴しました。(42年7月15日第38号より)

区分	年次別			25年~35年の比較 (△は増、△は減)		
	昭和25年	昭和30年	昭和35年	増減数	増減率%	
世帯数	2,562	2,545	2,576	14	0.5	
人口	総数	13,707	13,455	12,865	△ 842	△ 6.1
	男	6,427	6,276	5,988	△ 439	△ 6.8
女	7,280	7,179	6,877	△ 403	△ 5.5	

◎37年度当初予算
総額九千二百五十五万円
(37年3月10日第3号より)



◎横芝町十周年記念式典

横芝町合併十周年記念式典は、好天に恵まれた十月二十八日横芝中学校体育館で開催されました。(40年11月15日第26号より)